

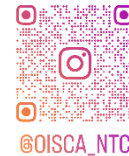
まるごと!西日本

2025年11月号

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oisca_ntc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**



@OISCA_NTC

Instagram



facebook

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

研修旅行に行きました!(大阪万博・広島平和公園・原爆資料館)



と「自国を離れて来てるんだもんな〜!自分の国が、万博で、どうの様に表現されているのか?思うだろうか?」と…。時々「(自分の)国に帰りたいナ」の言葉を聴く事があるので、私も海外にいて逆の立場だったら「日本館に行きたい!」と思うのかもしれません。私のグループにいた研修生たちの国(インドネシア・マレーシア・カンボジア・フィジー)のパビリオンは、運良く全制覇!マレーシア館では「マレーシア人は列に並ばなくても入場できます!」と言われたことに対し「ここにいるメンバー全員チームだから私達だけは入ることができません!」と返事をした研修生に、私自身も研修生に学ぶ場面がありました。



くれて目を輝かせていました。万博というものを始めて体験・体感し、疲れを見せないアドレナイン大放出の研修生達でした。(会場を出たら疲れがドッと来たみたいで夜は爆睡だったそうです 笑)

9/3(水)~9/5(金)の2泊3日で九州電力様よりご招待いただき大阪万博見学と、併せて広島原爆資料館へ研修旅行に行きました。

9/3の午後、マイクロバスでセンターを出発し大分から“さんふらわあ号”のフェリーに搭乗!船内で1泊。翌朝(9/4)、神戸港に到着し、いざ万博会場へ!総員20名のオイスカ隊は、10名ずつの2グループに別れて万博内を楽しみました。

日本人の私の観点ですが、自国の日本館よりも他の国のパビリオンに興味があったのですが、研修生達は、真っ先に「自国のパビリオンに行きたい!」と出発前に私に言って来たことに少しビックリでした。

よく考えてみる



(おかげ様で並ばずに入館! 感謝!)

インドネシア館に入れば、インドネシア研修生とSTAFFが!マレーシア館に行けばマレーシア研修生が!カンボジア館に入ればカンボジア研修生が!フィジーブースに行けばフィジー研修生が!スイッチが入って急変したようにヒヤヒヤとテンションが上がり顔付きが変わることに爆笑!研修生から服を引っ張られたりして振り向くと「せんせい!この食べ物は〇〇という名前でもとても美味しいです!」「せんせい!この花はボクの国のナショナルフラワーです!」と案内をして

帰路に就いた 9/5 には、広島に立ち寄り、平和公園と原爆資料館を見学。ひとつひとつの展示物を真剣に見学しながら、世界では色々な紛争があっていて数名の研修生が、自国の状況と併せて資料館の感想を話してくれたりする場面もあって核兵器の脅威と平和の大切さを再認識させられました。

今回の研修旅行では、研修生たちも大変貴重な経験をさせていただきました。九州電力様には、このような機会を頂き大変ありがとうございました。（浦上）



西日本支部運営委員会

9月24日(水) オイスカ西日本支部第29回運営委員会が九州電力で開催されました。

運営委員会には九州電力をはじめ運営会社8社の総務部長様はじめ代理の方にご出席をいただき、令和7年度上期事業報告及び収支報告並びに下期事業計画、収支予算が審議されました。今年度も農産物宅配事業クラウドファンディングの充実及び、西日本研修センター設備経年劣化に伴う状況説明をさせていただくなど取り組みを進めていくことになります。よろしくお願いします（満川）



ライオンズフェスタ in 北九州イベント参加

10月12日(日) ライオンズクラブフェスタが勝山公園(小倉北区)で開催をされ研修生数名参加をしました。このフェスタはライオンズクラブ国際協会337-A地区主催のイベントで、当日は天候にも恵まれ各地区のライオンズクラブの出席をはじめ多彩なステージイベントもあり大勢の人が来場されました。オイスカブースでは農産物や加工品の販売をして、たくさんの方にお買い求めをいただきました。またライオンズの方との交流もさせていただくなど大変有意義で楽しいイベントになりました。

フェスタ参加のご支援をいただきました福岡リバティライオンズクラブの皆様ありがとうございました。（満川）



北九州推進協議会総会

10月29日、オイスカ北九州推進協議会の総会が折尾まちづくり記念館で行われました。コロナ流行を期に数年開催が見送られておりましたが、総会では事業報告及び決算報告並びに7年度計画についてご審議をいただきました。

総会後の会員さんとの交流会では研修生のダンスの披露をするなど和やかな雰囲気の中での交流になりました。来年度は海外ツアーの企画や北九州のイベント参加を通して活動の輪を広げていくこととなります。総会後はいのちの旅博物館を見学して地球誕生からの自然と生命の歴史について学びました。北九州の会員のみなさんありがとうございました。(満川)



佐賀国際フェスタ参加

毎年恒例の佐賀国際フェスタが10月5日に嬉野温泉駅前にて開催されました。研修生一同参加し、オイスカの農産物も販売できました。ステージでは、バンブーバンドをはじめ、マレーシア、インドネシア、インド、スリランカの踊りを披露。多くの皆さんに楽しんでいただきました。収穫祭のチラシも多数配布したので、収穫祭での来客増にもつながるはず！会場にはスリランカからの野球選手も来ており、スリランカコールでにぎわいました。(廣瀬)



農場の研修風景

10月が終わりがけの頃に、「きんもくせい」の花が思い出したように咲き始めました。開花と同時に秋らしい良い匂いがあちこちから漂い始め、ようやく本格的な秋の訪れを感じました。そこで改めて気付いたことが、本来「きんもくせい」は9月の終わりに10月に入って開花するのが通常なのですが、この「きんもくせい」の開花を例にあげるだけでも、間違いなく秋の季節は1カ月遅れて進んでいるのです。10月中旬までの真夏日の連続は、昨年以上に残暑の厳しさを物語っていましたが、「きんもくせい」の開花を見て、間違いなくこれからの日本の秋は2カ月間しかないという事を実感させられました。



そして、春では季節が1か月間前倒しに進んで、1カ月早い夏が来るという事になります。日本の四季が大きく変化していく中で、オイスカが進める環境にやさしい有機栽培は病害虫などの影響で、非常に管理が難しい状況になっています。（豊田）



体験農園だより

毎年言っているような気がしますが、今年も本当に虫の被害が多くて、秋野菜の栽培はとても大変です。

特に今年は青虫の被害が多く、11月に入ってもその活動は収まることなく、未だにキャベツやブロッコリーの葉っぱを食い荒らしています。

そのような状況の中でも、ニンジン、ジャガイモ、ダイコンなどの野菜は元気に育ち、もうすぐ収穫の時期を迎えます。

お米の価格の高騰は未だに収まらず、毎年の猛暑の影響で野菜の値段も上がっている状況の中で、わたしたちの食は一体どうなっていくのかとても心配になりますが、このような状況だからこそオイスカが進めている「体験農園」の取り組みの意味が大きくなっていくのではないかと思います。皆さんも食の原点でもある農業を、今一度見直してみてもいいのではないでしょうか。（豊田）



アトリエ木下農業実習風景撮影



10月9日（木）、毎年オイスカ研修生に素敵なアルバムをプレゼントしていただいている「アトリエ木下」様のカメラマンが3名研修センターに来ていただき、アルバム用の写真撮影を行っていただきました。

カメラマンの方には早朝よりセンターに来ていただき、点呼の様子から掃除風景、そして農業実習の様子など、1日かけて研修生の日常の研修風景を撮影していただきました。

研修生の研修センターでの思い出がたくさんつまった2025年のアルバムが、来年に出来上がります。（豊田）

稲刈り体験に大勢の参加者



今年の秋も多くの団体がオイスカの田んぼを訪れて稲刈り体験が行われました。

順番を追って紹介しますと、最初の「こらぼら Q でん」が主催の稲刈りイベントは、残念ながら雨天で中止となりましたが、その後はセンター主催の稲刈りが9月27日(土)に実施され

(参加者80名程)、10月にはピノキオこども園が10月1日(100名程参加)、地元脇山小学校の稲刈りが10月2日(木)に行われました。

今年は稲の実りが非常によく、とても刈りごたえのある稲刈りイベントになりました。

お米の値段が上がり、日本人の主食であるお米に対する見方が変化している中で、田んぼに入って手で稲刈りをする意味は非常に大きいのではないかと思います。(豊田)



いもほり体験

最近では福岡市内でサツマイモの芋掘り体験が出来るところが少なくなっているということで、今年は8か所の保育園がサツマイモ掘りにセンターまで来ました。

順番で紹介しますと、10月21、22日にかけて4つの保育園がきました(別の記事にて掲載)。そして、27日に春日市にある岡本保育園、30日には



若竹保育園、31日には「ホレおばさんの家」の保育園、11月10日にはピノキオ保育園が芋掘りにきました。

子ども達はサツマイモ掘りが大好きで、毎回準備した区画を掘り終えた後でも、物足りない様子で掘り終えたあとの畑を小さなスコップでいじっている様子が印象的でした。

(豊田)



福岡県民会議主催のキッズ国際交流開催



などをして楽しく国際交流を行いました。

園児たちも研修生とすぐに打ち解けて、肩車やおんぶをしてもらいながら遊んでいました。

「言葉や肌の違いがあってもみんな優しい人たちなんだ」ということを、子ども達に肌で感じてもらう良い機会になったと思います。（豊田）

10月21日（火）、22日（水）の2日間にわたって、幼稚園、保育園の園児を対象とした「キッズ国際交流」がセンターにて開催されました。

今年で2回目となるこのイベントに、今回は2日間にわたって4つの保育園から総勢90名ほどの園児が参加し、サツマイモの収穫体験を中心に研修生からの国の紹介やダンスの体験



ボーダレスコンサート参加



9月13日（土）、小城市の「ゆめプラット小城」で開催された「ボーダレスコンサート」にステージ出演をさせていただき、バンブーバンドや研修生の国のダンスを披露させていただきました。

会場にはオイスカの会員さん達もたくさん参加していただき、出演者の顔ぶれも大変豪華で賑やかなステージが繰り広げられて、大盛り上がりのコンサートになりました。特にオイスカ研修生のステージでは、会場全体が一つになって最高に盛り上がり、楽しい時間をみんなで共有することが出来ました。（豊田）

脇山料理教室

10月18日（土）脇山料理交流会をセンターにて行いました。当日は脇山校区の参加希望の方たちが来られ研修生との料理交流会、遊びの交流と2部制で楽しみました。

料理の方は東ティモール、マレーシア、スリランカの料理と一緒に作ってその後試食。皆様普段はなかなか食されない食事ばかりで研修生は質問攻め。上手になった日本語で対応、料理指導。参加者の方々も身近で研修生と交流が出来ることが楽しそうで色々興味津々に質問されていました。料理の方もとても好評でした

食後は研修生の国の紹介、ペットボトルを使ったゲームなどなど。研修生はいつもゲームに関しては大盛り上がりで、大変楽しい時間を過ごせたようでした。



1年を通して深いつながりのある脇山校区の皆様と、こうやって近い所で交流を持てることは研修生にとっても非常にうれしいことです。11月は脇山校区の運動会ですね。引き続き宜しくお願い致します。（豊田早苗）

OB 紹介コーナー ～東ティモール セバス～

今年の3月に帰国した東ティモールのセバスから、ふるさとの農場で頑張っている様子の写真が届きました。



以前、東ティモールで日本語教師をしている丹羽先生からの報告で、「セバスが育てたミニトマトを食べさせてもらったとても美味しかった」との報告を聞いていましたが、直接本人らの報告をいただき、とても嬉しい気持ちになりました。

セバスが頑張っている畑の様子は写真の通りで、専門的な目線で写真を見ますと、こちらが予想していた以上に土の色が黒くて、火山灰の肥沃な土壌であることがわかりました。

本人に話を聞くと、野菜の栽培は出来るが販売の方がなかなか難しいと言っていました。

課題は果てしなくたくさんありますが、世界で5番目に新しい国である東ティモールのこれからの農業をけん引していくのは、セバスのような頑張り屋さんであることを私は確信しています。(豊田)



オイスカインドネシア会長来所

10月15日に東京で開催された、オイスカインターナショナル国際理事会参加に合わせて、インドネシアのハイディール会長とサムシディン所長が来所。ハイディール会長は以前四国研修センターで研修を受けたOBで、昨年までは国会議員として国政に貢献、現在は国の保険省の重責を担っています。今回の来福では、インドネシアでの養鶏(ブロイラー)の拡大政策にあたり、日本で研修を受けれる施設の視察も行いました。

研修生に自分が成功した経緯とオイスカスピリットを忘れないように！と励ましの講義をしていただきました。(廣瀬)



マレーシアナショナルデー参加



10月30日、ホテルニューオオタニにてマレーシアナショナルデーが開催され、研修生のジョナタン、エンジェル、ファズリナが参加しました。独立60年を迎え、福岡でも「福岡・マレーシア友好協会」が40年近くマレーシアとの交流を支えています。今回のナショナルデーでは多くの方が参加され、オイスカ研修生とも交流いただきました。これからも友好的な交流が続く事を願います。(廣瀬)

ドローン講習会

9月10日、この度、九州電力様のご協力を得て、「海外研修生の学びに」と、ドローンを購入しました。

今後海外でもスマート農業が広まっていく中で、少しでも体験ができればとドローンの講習会を開催しました。あいにく当日は天候が悪く、ホールでの講習となりましたが、研修生及びセンター職員も講習を受け、実際に操縦も体験。思ったように進まないこともあり

ましたが、研修生の真剣に取り組む姿が印象的でした。

当日は、西日本支部の瓜生会長もご参加いただき、「できるだけ研修生に練習の機会を」とアドバイスを受けました。

帰国後、役立ててもらいたいものです。

(廣瀬)



九電生協宿泊研修

10月9日(木)～11日(土)にかけて、毎年この時期に実施している九電生協の宿泊研修が、今年は7名の参加者で賑やかに開催されました。

九電生協様からは、長年にわたり毎年高額の寄付金をいただいております、オイスカの活動に協力するその意義について、多くの職員や組合員に対し理解を深めていただく意味も含めてこの研修会が開催されています。

3日間のスケジュールの中では、農業体験を中心に研修生の国の料理づくりや国際交流が組み込まれ、2日目の夕食時の懇親会では歌やダンスで大いに盛り上がった研修会となりました。(豊田)



朝倉産業視察

10月16日(木)、真夏日が続く暑い中ではありましたが、朝倉推進協議会からの招待で「朝倉市、東峰村での産業視察に行ってきました。

最初に訪問したのは筑前町役場で、副町長様が対応していただき、筑前町の産業や農業事情について説明をいただきました。その後、朝倉市役所、東峰村を表敬訪問し、それぞれの地域で行われている産業について詳しく説明をしていただきながら、研修生の方からも積極的な質問があり、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

その後、東峰村では、オイスカ会員でいつも研修生にシイタケ栽培のご指導を頂いている川村様のシイタケ栽培の現場を見学させていただきました。1年中20度に温度管理されているハウス内では、菌床から見事にたくさんのシイタケが成長している様子を見て、研修生も驚きながら写真撮影をしていました。昼食を坂本様のお宅で済ませた後に、山田堰や藤井養蜂場、最後にハラダ様のハウスビニールの加工工場の見学をして産業視察は終了となりました。

ハラダ様の工場では、そこでがんばっている技能実習生とも交流を深めることが出来て、お互いに良い時間を共有することが出来ました。(豊田)



長崎県推進協議会産業視察

絶好の天候に恵まれた10月28日、推進協議会のご招待で、佐世保地区の産業視察を行いました。最初に、協議会の白浜副会長の会社(大型鉄骨塗装)を訪問。目の前に橋梁の一部がきれいに塗装されていく過程を視察しました。県内でも対応できる企業がほとんどなく、初めての視察で環境に配慮した作業現場に感心していました。午後からは、山下会長が操縦するボートに乗せてもらい、九十九島を遊覧していただき、爽快感を味わいました。

協議会の皆様、貴重な機会を頂きありがとうございました。(廣瀬)





2025 年日本語のようす&大野城日本語スピーチコンテスト

暑い暑い夏を乗り越え、12月の日本語能力試験に向けて、頑張る日々です。

引き続き、1週間に1回半日の日本語クラスで、勉強を続けています。

A クラス 7月の日本語能力試験に合格して、現在は次のレベルを受験するために勉強をしています。

少しでも、試験範囲を学習できるように、スピードをあげていますが、お互いに刺激し合って頑張っています。

B クラス 12月には、Bクラスも日本語能力試験を受験します。読み書きが苦手の人がいいましたが、克服しつつあります。相変わらず、おしゃべりはとても上手で、質問を投げかけると話が広がります(広がります(笑))。

語学学習には、好奇心も必要ですね。

さて、11月2日に大野城にて日本語スピーチコンテストが開催されました。

今年度は、テーマが自由になり、日本語学校の学生をはじめ13名の在日外国人がスピーチに出場しました。センターからは、4名の研修生(Aクラス1名・Bクラス3名)が出場しました。残念ながら、受賞は逃しましたが、自分の意見を伝えようとする研修生たちには感動しました。彼らの意見は、聴講者の心にも何かしら、残してくれたものと思います。

タリニーさん(スリランカ)…父と母の愛について、体験をもとに話しました。

多くの人が自身の父母を思い出したことでしょう。

アイシャさん(インド)…私たちが子どもたちに贈れる最高のプレゼントは

自然の中に連れ出すことだ！と語りかけてくれました。

バイラさん(モンゴル)…自分が踏み出した1歩で、自身の夢が未来が輝きだした経験を話してくれました。

バレンティーノさん(東ティモール)…大好きな大濠公園で出会ったおじいさんとの会話がきっかけで九州の月が大好きになったと情景が浮かぶように話しました。



タリニーさん



アイシャさん



バイラさん



バレンティーノさん

あとすこし、がんばれ研修生！(立石考子)

技能検定・技能評価試験

9・10月に行われた技能検定試験に以下の実習生が挑みました！

(株)ハラダ(3名)の実習生に関しては、この実技試験の再試験に合格することが3号技能実習(2年延長)の条件となるため全力で練習に取り組みました。その際、練習場所・器材・資材・指導に関して(株)鶴田工業様より寛大なご協力をいただき、また検定会場としてもご提供いただいたお陰で、全員合格！

希望通り、3号への以降条件をクリアすることが出来ました。

工業包装の万年商店(2名)の実習生は、惜しくも11月に再試験になってしまいましたが、只今、猛練習中とのことで必ず合格してくれることと思います。

また、建設分野の評価試験においても、良い成績でクリアして行けている状況は、実習実施者(企業)様はもちろん、オイスカを支援していただいています他企業ならびに地域の皆様のお陰と思い感謝しています。

引き続き、ご支援のほどよろしくお願いします。(浦上)

9/3 工業包装 随時3級

【(株)万年商店】

- ・ELPA MARK BERNOS(マーク:フィリピン)
- ・ANICAL DARIO ALUNDAY(リオ:フィリピン)



10/6 鉄工:溶接 随時3級 実技試験(再試験)

【(株)ハラダ】

- ・RAHMAT ARDIANSYAH(ラハマト:インドネシア)
- ・RANDIKA SEJATI(ランディカ:インドネシア)
- ・GILANG JUDANTO IBNU ADYTIYAR(ギラン:インドネシア)

10/8 建設技能評価試験

【(株)平和送電】

- 〔専門級〕・TAUFIK RAHMAWAN(タウフィック:インドネシア)
- 〔基礎級〕・MUHAMMAD KHALID(カリド:インドネシア)
- ・NOVEL SUNINGGREAT(ノベル:インドネシア)

【(株)中野建設】

- 〔基礎級〕・PAJAR PADILAH(パジャル:インドネシア)
- ・RIAN HARMANDA(リアン:インドネシア)



【(有)秋重建設】

- 〔基礎級〕・FITO FIRMANSYAH(フィット:インドネシア)
- ・ARYA MAULANA RACHMAN(アリヤ:インドネシア)

10/28 建具製作:木製建具手加工 随時3級 【(株)オークマ】



- ・DENI ABDUL GANI(エデン:インドネシア)
- ・BIMO SATRIYO(ビモ:インドネシア)
- ・IKHSAN MUKHLIS FIRMANSYAH(イクサン:インドネシア)
- ・RASYID SAEFUDIN(ロシ:インドネシア)
- ・AGI PATUROHMAN(アギ:インドネシア)



福岡アジア文化賞授賞式参加

9月16日、新設された福岡市民ホールにて、福岡アジア文化賞授賞式に研修生一同参加しました。長年続く文化賞で、毎年研修生も参加しています。今回も秋篠宮ご夫妻も参加され、研修生にとってもまたとない機会、席もすぐ近くで緊張していました。授賞式の終了に合わせ、ご夫妻が退場される際、研修生のすぐ横を通られ、民族衣装をまとった研修生に紀子様が手を振っていただきました。本当にありがとうございました。

残念ながら撮影禁止の為写真はありませんが、心に残る思い出となったようです。(廣瀬)

フィジー青年スポーツ省大臣来所



9月22日、大阪万博でのフィジーフォーラムに合わせ、フィジーの青年スポーツ省大臣一行が来所されました。現地でオイスカと共同で青年育成センターを運営している母体で、研修生のアセリ君が色々と説明してました。来年はフィジーからの研修生がないのを残念がっておられましたが、OBたちの活躍を喜んでおられました。(廣瀬)

在東京パプアニューギニア大使館臨時大使来所

10月22日、オイスカ支援者の五十嵐様の案内で、パプアニューギニア臨時大使が来所されました。初の西日本研修センター訪問で、ちょうど同国のマックス君(OB研修生)も同席し西日本研修センターでの研修概要を説明しました。臨時大使は、今後の青年育成及び農村開発、オーストラリアに頼っていた稲作づくりを全土で普及したいとの事で、オイスカOBに期待を寄せていました。(廣瀬)



11月の予定

- 1日 佐賀バルーンフェスタ見学
- 2日 大野城スピーチコンテスト
- 8日 オイスカ収穫感謝祭・秋
- 14日 大相撲九州場所見学
- 15日 脇山小学校餅つき大会
- 16日 脇山校区運動会参加
- 23日 東峰村百年の森づくり参加
- 25日 ホテルオークラ社員研修
- 29日 佐賀推協料理交流会



12月の予定

- 2日 アトリエ木下 Xmas 会参加
- 5日 オイスカ浜松国際高校
修学旅行来所
- 7日 日本語検定試験受験
- 12日 福岡県議会議員連盟
報告懇親会参加
- 14日 基山ふれあいフェスタ参加
- 18日 早良高校日本文化体験
- 20日 オイスカ餅つき大会
- 29日 仕事納め

ご協力ありがとうございます

【9月・10月の新入会員】(敬称略)
寺川博美 倉本明美 船津智香子
野間口孝紀 大神明子 坂本義孝

【9月・10月の寄贈者】(敬称略)
ハートフィールドさかもと、シュクル
鶴田部長(鶴田工業)、陣野広美
三浦(体験農園)、宮原美智子
峯泰彦(九電産業)、廣崎博子
田尻(山川みかん)、進藤徳博
高田恭宏、大雷童お母さま